

皆様こんにちは!園内紅葉も大分進んできました♪ロックガーデンも秋の花が増えてきました。現在は**大文字草**、**コハマギク**、**シラヒゲウメバチソウ**、**ウメバチソウ**、**ハウオウシャジン**、**イワシャジン**、**ホトトギス**、**キイジョウロウホトトギス**などが見頃を迎え、園内の各場所では**ノコンギク**や**アキノキリンソウ**などの野草も顔を覗かせています。特に**大文字草**、**イワシャジン**、**キイジョウロウホトトギス**はお勧めです!!



イワシャジン



イワシャジン(白花)



ホトトギス

貴重なお花

今日は以前少しお話した「**キイジョウロウホトトギス**」についてもう少し詳しくご説明したいと思います!まずこのお花はユリ科の植物で深山などの崖から垂れ下がるように咲く多年草です。名前の由来は平安の昔、宮中に奉仕した貴婦人、上臈(じょうろう)に見立てたところから来ています。名前の「キイ」は黄色という事ではなく、紀伊半島の「紀伊」であり、この品種はその名の通り紀伊半島南部が主な自生地となっています。この種類のホトトギスには地名により「相模」や「駿河」などの種類が存在し、地域によっては絶滅危惧種にも指定されていることもあります。

ちなみに…上の方でもご紹介した「ホトトギス」。このお花の和名の由来は花全体の模様が(白地に紫の斑点模様)が鳥のホトトギスの胸腹の模様に似ていることからつけられました。。



「キイジョウロウホトトギス」



「ホトトギス」

紅葉進行中!!

10月に入り少し暖かい日が続いています。園内の木々や草花も色がつき始めました。例年に比べ1週間程度早いような気がします。周りの山々は今で1.5~2割程度紅葉が始まっており、園内の標高850m~900m地点でも紅葉が見られます。ロープウェイの線下でもモミジやナナカマド、ウルシ、キハダの木などが黄色や赤い色を付け始めています。



植物園内も至る所で紅葉が始まりました。。



とっても鮮やかな黄色の「キハダ」の木

イワシャジンとホウオウシャジン

今回はもう一つ園内の良く似ているお花「イワシャジン」と「ホウオウシャジン」についてもお話します。イワシャジンは本州の中部から関東に分布し、山地の岸壁に自生しています。秋になると紫色の釣鐘型の花を下向きに咲かせます。風に揺られる姿はとても可憐で、秋を彩るお勧めのお花です。

ホウオウシャジンはイワシャジンの変種で、南アルプスの鳳凰三山のみにも自生する固有種のお花です。イワシャジンより更に高い所に生息し、イワシャジンよりも花冠が小さく、萼片の鋸歯が少ないのが特徴です。見た目は高山植物らしく若干弱々しいですがシャジン系統特有の紫色と、釣鐘型の花で秋の高山では特に目を引きます。



イワシャジン



ホウオウシャジン

写真で見るとなかなか見分けがつかない!?